

施工説明書

ダイケン DADスペース ＜DADスペースSP55S、SP50S＞

「施工業者様へのお願い」

●弊社では、お施主様が製品を安全に正しくご使用いただくためのお願い事項やお手入れ方法などの重要な内容を記載した「取扱説明書」を添付しております。必ず、お施主様に手渡しいただきますようお願いいたします。
(取扱説明書は
<https://www.daiken.jp/pro/download/manual/> よりダウンロード可能です)



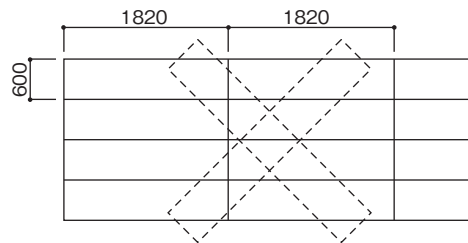
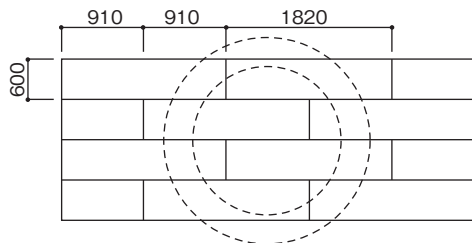
本製品は防音性能を考慮した床材です。正しい施工がされない場合には製品本来の性能が発揮されない恐れがあります。以下の注意事項をよくお読みいただき、正しい施工をおこなってください。

⚠ 警告

- 雨に濡れたDADユカSパネルは絶対に使用しないでください。
段違いや、曲げ強度の劣化による床鳴りやたわみ量増加の原因になります。

⚠ 注意

- 際根太施工の場合、必ず施工前に部屋の四周に配置される際根太を点検してください。点検した結果、不十分であれば、補修が完了するまで、DADスペースは施工しないでください。
 - ① 際根太材に乾燥材が使われているか。(「ねじれ」や「やせ」がないか。)
 - ② 際根太は壁下地に釘と接着剤併用で確実に止め付けられているか。
 - ③ 束は450mmピッチ以内で配置され、釘と接着剤併用で確実に止め付けられ、がたつきや床鳴りがないか。
 - ④ 際根太のレベルが図面通りでているか。(際根太と掃き出しサッシ、木製建具、家具式クローゼットとの取り合いに無理がないか。)
 - ⑤ 際根太天面の水平はでているか。
- DADユカSパネルの割り付けは必ず455mmまたは910mmずらしのレンガ張りとしてください。
- 下図のように「いも張り」はしないでください。床鳴りやたわみ量増加の原因になります。



- ボルト脚は十分な調整後、必ず同梱の接着剤で固定してください。
 - ★接着剤は一昼夜で硬化しますので、レベル調整を十分おこなってから、接着剤を塗布してください。接着剤を使用しないと、レベルが狂ったり、床が柔らかくなったりして、床鳴りの原因となります。
- カーペットやクッションフロア仕上げのときは必ず所定(7.仕上げ材の施工)の厚さの捨張り合板を使用してください。
 - ★捨張り材を使用しないと、床鳴りやたわみ量の増加の原因となります。
- 仕上げ材に無垢材は絶対に使用しないでください。
 - ★無垢材は湿気により大きく伸縮したり、反ったりします。突き上げや床鳴りの原因になりますので、無垢材は使用しないでください。
- フロアや捨張り材の止め付けに普通釘やフィニッシュネイルは絶対に使用しないでください。床鳴りやフロアの浮き上がりの原因になります。
 - ★フロアの施工はフロアネイル(スクリューがきちんと切っただけのもの。例えばマックス㈱フロア用リバースロック釘など)やフローリング用ステープル(例えばマックス㈱983Tフロア(釘打ち機TA-557/957Tフロア)など)をご使用ください。
- フロアや捨張り材、DADユカEマットの止め付けには上記の釘と下記の接着剤を併用してください。
 - ★接着剤は日本接着剤工業会JAI14「二重床施工用ウレタン樹脂系接着剤」該当品を使用してください。別売のDADユカEボンド2(品番:YB1356-015)をご使用ください。
- DADユカSパネル、DADユカEマット、捨張り材、仕上げフロアと壁との隙間は必ず3~5mm程度あけて、湿気によりフロアなど材料が伸びたときの床鳴りやフロア端部の突き上げなどの不具合が発生しないようにしてください。

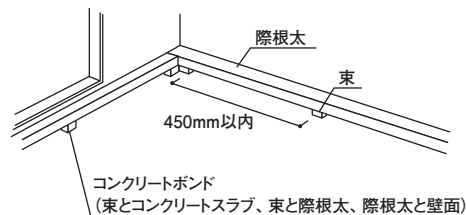
【廃棄上の注意】

- 本製品の施工時に出た廃材を廃棄するときは、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に従い、DADユカSパネルは「木くず」、DADユカEマット・DADユカEウールは「廃プラスチック類」、DADユカEボルト等のボルト類は「木くず」と「金属くず」と「廃プラスチック類」の混合物として適正に処理してください。詳細は各自治体にご確認ください。

施 工 手 順

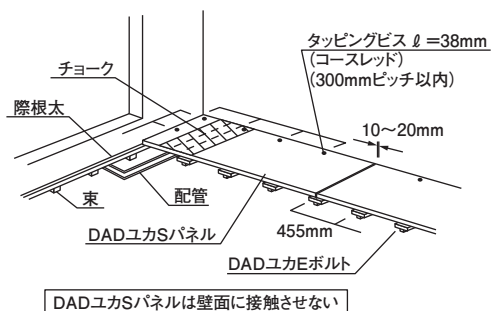
1. 際根太の施工

- ① 際根太は40mm角以上の乾燥材を使用してください。
- ② 束のピッチは450mm以内としてください。
- ③ 際根太・束はコンクリート用接着剤と釘の併用で固定してください。
釘を打つときは壁・床下の配管等を傷つけないよう、ご注意ください。
- ④ DADユカSパネルの施工を始める前に、際根太や束に「がたつき」や「ねじれ」、レベル調整違いがないか、確認してください。



2. DADユカSパネルの施工

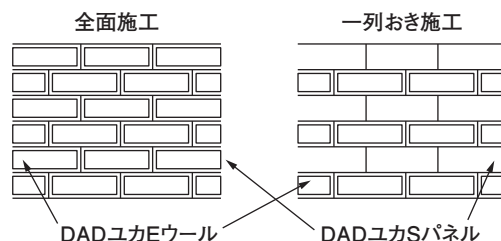
- ① 事前に重量物が床上に設置される場合は以下の補強をしてください。
大型冷蔵庫や背の高い食器棚などの重量物が置かれるキッチンや、ダッシュボード・オーディオラックなどが置かれるリビングの壁際は、DADユカEボルトのピッチを狭める (300mmピッチ) か、重荷重用のボルトを使用し、床のたわみや家具の揺れを防止してください。
- ② DADユカSパネルは仕上げ材と直交するように割り付けてください。
- ③ DADユカSパネルの片側を際根太にのせ、もう一方の側にDADユカEボルトの台座合板の剥離紙をはがして押し付けます。DADユカEボルトのピッチはDADユカSパネル長辺方向455mm、短辺方向600mmとします。
- ④ DADユカSパネルと壁の間には3~5mm程度の隙間をあけてください。
- ⑤ DADユカSパネルは910mmずらしのレンガ張りとし、DADユカSパネルどうしの間隔は10~20mmとしてください。
- ⑥ DADユカSパネルと際根太はタッピングビス (長さ40mm以上) で止め付けてください。このとき床下の配管等を傷つけないようご注意ください。



3. DADユカEウールの施工 (低床の場合)

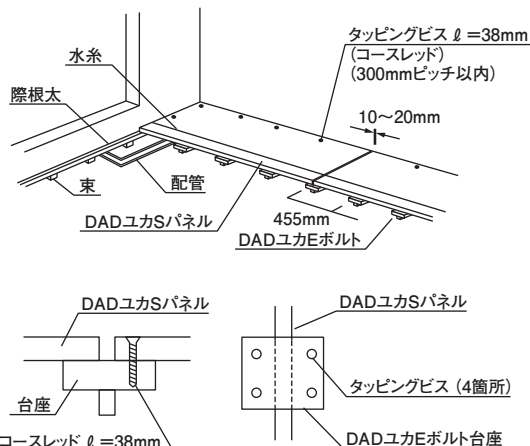
- ① DADユカEウールはDADユカSパネルを施工した後の設置はできませんので、DADユカSパネルを施工しながら、コンクリートスラブ上に置き敷きしていきます。
- ② 性能や床高さに応じてDADユカEウールの敷き込み方法が異なります。以下を参考としてください。

システム ふところ高さ	DADスペース SP50S/55S		DADスペース SP55S (200mmスラブ LL-40ランク)	
	置き方	枚数	置き方	枚数
80mm以上	不要	不要	性能ランクに対応しません。	
50~80mm	1列おき	2枚重ね	全 面	2枚重ね
50mm以下		1枚		1枚



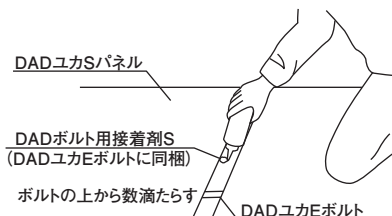
4. レベル調整

- ① レベル調整は水系、水準器を用い、慎重におこなってください。
- ② レベルは必ずDADユカEボルト上を基準としてください。
- ③ レベル調整が終わったら、DADユカSパネルとDADユカEボルトの台座をタッピングビス (長さ38mm以上) で止め付けてください。このとき、台座が傾いたりしないようご注意ください。また、床下の配管等を傷つけないよう、ご注意ください。
- ④ 台座の止め付けが終わったら、床面全面を歩いてもう一度、ボルトのゆるみや浮きがないことをよく確認してください。



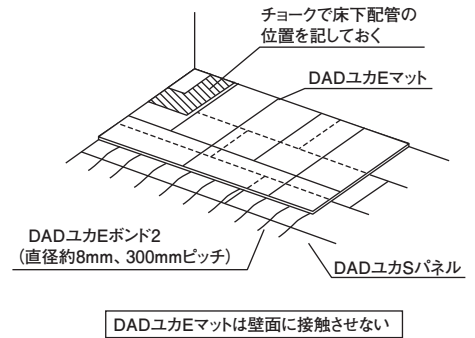
5. ボルト用接着剤の塗布

- ① DADユカSパネル施工後にDADユカEボルトの浮き等がないことを確認し、ボルト用接着剤 (ボルトに同梱) をDADユカEボルトの上から数滴 (約2g程度) たらして接着固定させます。
ボルト用接着剤は約1日で硬化しますので、これまでにレベル調整を確実にこなしてください。



6. DADユカEマットの施工 (DADスペースSP50Sの場合)

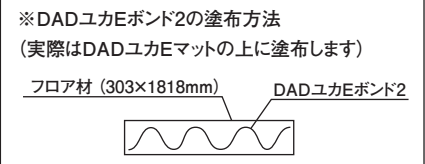
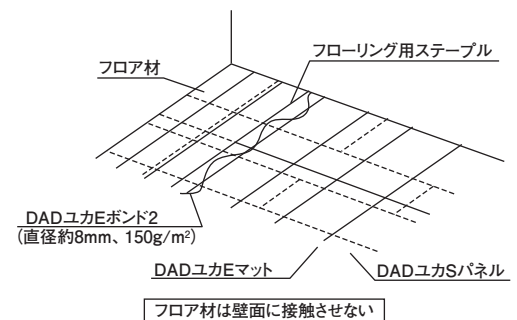
- ①DADユカEマットはDADユカSパネルの目地と重ならないように施工してください。(張り方向に決まりはありません。)
- ②DADユカEマットは接着施工してください。接着剤は日本接着剤工業会JAI14該当品をご使用ください。(別売のDADユカEボンド2 (品番: YB1356-015) をご使用ください。)
- ③DADユカEボンド2は同梱の空容器に移し、直径約8mmの線状に300mmピッチで塗布します。塗布量の目安は約150g/m²です。接着剤塗布後、20分以内にDADユカEマットを圧着します。
- ④DADユカEマットどうしは0~5mm程度の目隙かし施工としてください。(マット間にコーキングは不要です。)
- ⑤壁とマットの隙間は3~5mm程度の隙間をあけてください。
- ⑥DADユカEマットの切断はカッターナイフを用い、まず、片面に切れ目を入れてSパネル等の角に当てて折り、裏面に残った表面材を切断してください。



7. 仕上げ材の施工

(合板フロアの場合)

- ①フロアはDADユカSパネルと直交し、目地をまたぐように施工してください。(合板フロアの場合)
- ②フロアは壁面と3~5mm程度の隙間をあけてください。
- ③フロアは釘・接着剤併用で施工します。釘はスクリューが切ってあるフロアネイルかフローリング用ステープルを約300mmピッチ以内で確実に止め付けます。このとき、DADユカSパネルの目地をまたぐ部分の近傍にも必ず釘を打ってください。釘は45~50度くらい立てて、フロア表面を傷付けないように、また、下地から浮かないように打ってください。また、床下の配管等を傷付けないように十分ご注意ください。釘の長さは以下をご参照ください。
DADスペースSP50S: 44mm以上 (例えばマックス㈱フロア用リバースロック釘NRL45V1フロアまたはステープル944Tフロア)
DADスペースSP55S: 38mm以上 (例えばマックス㈱フロア用リバースロック釘NRL38V1フロアまたはステープル938Tフロア)
- ④接着剤は日本接着剤工業会JAI14該当品をご使用ください。(別売のDADユカEボンド2 (品番: YB1356-015) をご使用ください。)
DADユカEボンド2は同梱の空容器に移し、直径約8mmの線状でフロア1枚当たり4~5つの山を描くようにDADユカSパネル、DADユカEマット側に塗布します。塗布量の目安は約150g/m²です。接着剤塗布後、20分以内にフロアをよく圧着してください。DADユカEボンド2は1缶 (15kg) で約95m²塗布できます。



(カーペット、クッションフロア、畳仕上げの場合)

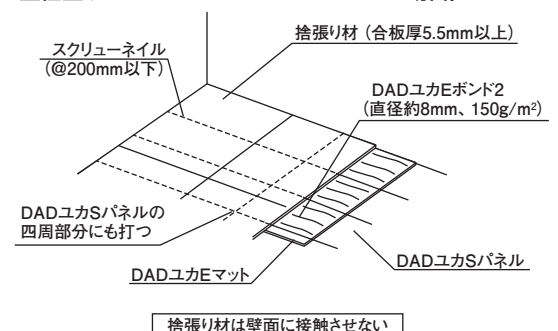
- ①カーペット、クッションフロア、畳仕上げの場合は以下の捨張り合板を施工してください。

	仕 上 げ 材 の 種 類	
	カーペット、クッションフロア	畳 (厚さ55mm以上)
DADスペース SP50S	厚5.5mm以上のコンパネまたは合板	
DADスペース SP55S	厚5.5mm以上のコンパネまたは合板	不 要

- ※厚さが55mm未満の畳の場合は、捨張り合板厚5.5mm以上を捨張りしてから施工してください。
- ※捨張り材を使用しない場合は、DADユカSパネルどうしの隙間を布テープでふさいでください。

- ②張り材は必ず下地 (DADユカSパネル、DADユカEマット) の目地をまたぐように配置・施工してください。
- ③捨張り材は釘・接着剤併用で施工します。釘はスクリューネイルまたはタッピングビスを用い、クッションフロアの下地の場合はピッチ100mm以下、カーペットの下地の場合はピッチ200mm以下で打ちます。このとき、DADユカSパネルの目地をまたぐ部分の近傍にも必ず釘を打ってください。また、床下の配管等を傷付けないように十分ご注意ください。
- ④釘の長さは下表をご参照ください。
- ⑤接着剤は日本接着剤工業会JAI14該当品をご使用ください。(別売のDADユカEボンド2 (品番: YB1356-015) をご使用ください。)
DADユカEボンド2は同梱の空容器に移し、直径約8mmの線状に約300mmピッチでDADユカSパネル、DADユカEマット側に塗布します。塗布量の目安は約150g/m²です。接着剤塗布後、20分以内に捨張り材をよく圧着します。

(カーペット、クッションフロア、畳仕上げDADスペースSP50S、55Sの場合)

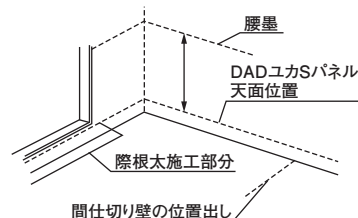


	捨張り材の厚さ		捨張り材の表面からDADユカSパネル下面までの厚さ	
	厚 5.5mm	厚 12mm	捨張り材厚 5.5mm	捨張り材厚 12mm
DADスペース SP50S	30mm以上	38mm以上	33.5mm	40mm
DADスペース SP55S	25mm以上	30mm以上	25.5mm	32mm

床先行の場合の施工方法

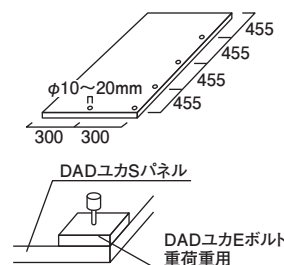
1. 割り付け、墨出し

- ①間仕切り壁が施工される部分にDADユカEボルト重荷重用脚が配置されるよう、DADユカSパネルの割り付けをおこなってください。間仕切り壁下のDADユカEボルト重荷重用脚はDADユカSパネルの長辺方向に455mmピッチ、短辺方向は300mmピッチに配置されるように割り付けてください。このとき、DADユカSパネル四周の所定の脚位置と間仕切り壁下の補強脚を共用すると、効率よく配置できます。
- ②開口部分（人が出入りする場所）には際根太を施工してください。
- ③間仕切り壁が施工される部分に墨出しします。この部分に間仕切り壁がのりましますので、正確に寸法を取ってください。
- ④腰墨から逆算して、DADユカSパネルの天面位置を墨打ちします。



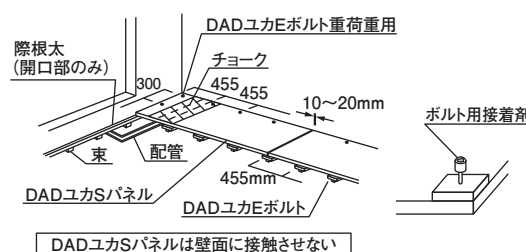
2. 壁際部のDADユカEボルト重荷重用の取り付け

- ①壁際部のDADユカSパネルにDADユカEボルト重荷重用脚を取り付けるための孔（φ10～20mm）をあけます。DADユカSパネル長辺方向は455mmピッチ、短辺方向は300mmピッチにDADユカEボルト重荷重用脚が配置するように位置出ししてください。
- ②DADユカSパネルの孔の位置とDADユカEボルト重荷重用脚のボルト位置を合わせて仮止めします。（DADユカEボルト重荷重用の台座粘着シートの離型紙をはがして、DADユカSパネルに圧着し、タッピングビス（長さ38mm）で固定します。



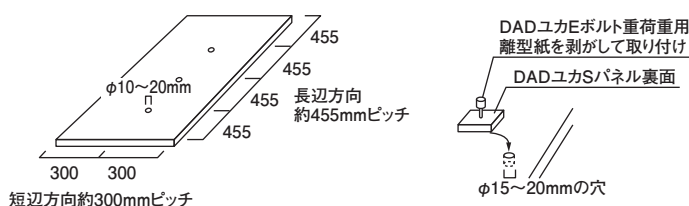
3. 壁際部のDADユカSパネルの敷き込み、レベル調整

- ①DADユカEボルト重荷重用の防振ゴム裏面に同梱のボルト用接着剤を塗布し、位置を決めてからDADユカSパネルを反転して設置します。（接着するスラブ面の砂、ほこり、油分はあらかじめ十分取り除いてください。）
- ②天面の墨打ち線に合わせて、レベル調整をおこないます。
- ③2枚目以降も同様に施工し、DADユカSパネルとDADユカEボルト重荷重用脚をタッピングビス（長さ40mm）で固定します。
- ④開口部には際根太を施工してください。
- ⑤床下配管をチョークでDADユカSパネル上に表示し、ビスや釘などで配管を傷付けないようご注意ください。



4. 間仕切り壁下DADユカEボルト重荷重用の取り付け

- ①墨出し位置に合わせ、間仕切り壁が配置される真下にDADユカEボルト重荷重用を取り付けながら施工します。
- ②DADユカEボルト重荷重用の取り付け位置に孔（φ10～20mm）をあけてから、台座粘着シートの離型紙をはがして、DADユカSパネルに圧着し、タッピングビス（長さ40mm）で固定します。



以下は壁先行と同様に施工を進めていきます。

製品に関するご相談は

お客様センター

0120-787-505

受付時間：平日9:00～17:00

（土・日・祝日・年末年始・夏期休暇は休みとなります。）

総合カタログに掲載していない製品は、ご提案のあった工事店様や販売店様を通して、弊社営業窓口にお問い合わせください。
よくあるご質問、施工・取扱い説明書情報、カタログのご請求・閲覧などはお客サポートからご確認いただけます。

DAIKEN お客様サポート

検索

<https://www.daiken.jp/contact/>

メールで写真も送ることができます。



防音・音響仕様のお問い合わせは

サウンドセンター 東京 TEL(03)6271-7785

大阪 TEL(06)6205-7245

受付時間：平日10:00～17:00

（土・日・祝日・年末年始・お盆はお休みとなります。）

大建工業株式会社

DAIKEN のホームページアドレス <https://www.daiken.jp/>